

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 18 日(2024.11.18)

【公開番号】特開 2024-158659(P2024-158659A)
【公開日】令和 6 年 11 月 8 日(2024.11.8)
【年通号数】公開公報(特許)2024-209
【出願番号】特願 2023-74024(P2023-74024)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 8 日(2024.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前方に向かって放音可能に配置されたスピーカと、

前記スピーカの前方に配置されたスピーカカバーと、

前記スピーカと前記スピーカカバーとの間の空間を区画するスピーカ対向筒部と、を備え

る

前記スピーカ対向筒部の内面は、遊技時における遊技者の耳が位置する所定位置に対して
前記スピーカから出力された音を反射させる反射平面を有する

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、スピーカ装置を備える遊技機が知られている。このようなスピーカ装置から出力
される音声を下方に向かわせるには、放音部が斜め下方を向くようにスピーカ装置を配置
することが考えられる。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2006 - 43057 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、放音部が斜め下方を向くようにスピーカ装置を配置すると、スピーカ装置を配置するためのスペースを広く確保する必要があり、遊技機に配置するその他の装置と干渉する、或いは遊技機の大型化を招くという問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、スピーカ装置を配置するためのスペースの大型化を抑制すると共に、音声を下方に向かわせることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前方に向かって放音可能に配置されたスピーカ（例えば、上部スピーカ装置4492、4993）と、

前記スピーカの前方に配置されたスピーカカバー（例えば、上部スピーカカバー4883）と、

前記スピーカと前記スピーカカバーとの間の空間を区画するスピーカ対向筒部（例えば、スピーカ対向筒部5001、5002）と、を備え、

前記スピーカ対向筒部の内面は、遊技時における遊技者の耳が位置する所定位置に対して前記スピーカから出力された音を反射させる反射平面（例えば、反射平面5001a、5002a）を有する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記構成の遊技機によれば、スピーカを配置するためのスペースの大型化を抑制すると共に、音声を所定位置（遊技者の耳）側に向かわせることができる。

10

20

30

40

50